A person is seen working in a rice paddy field, likely using a stone-removal machine as mentioned in the text. The field is filled with young rice plants, and the background shows a rural landscape with trees and a building.

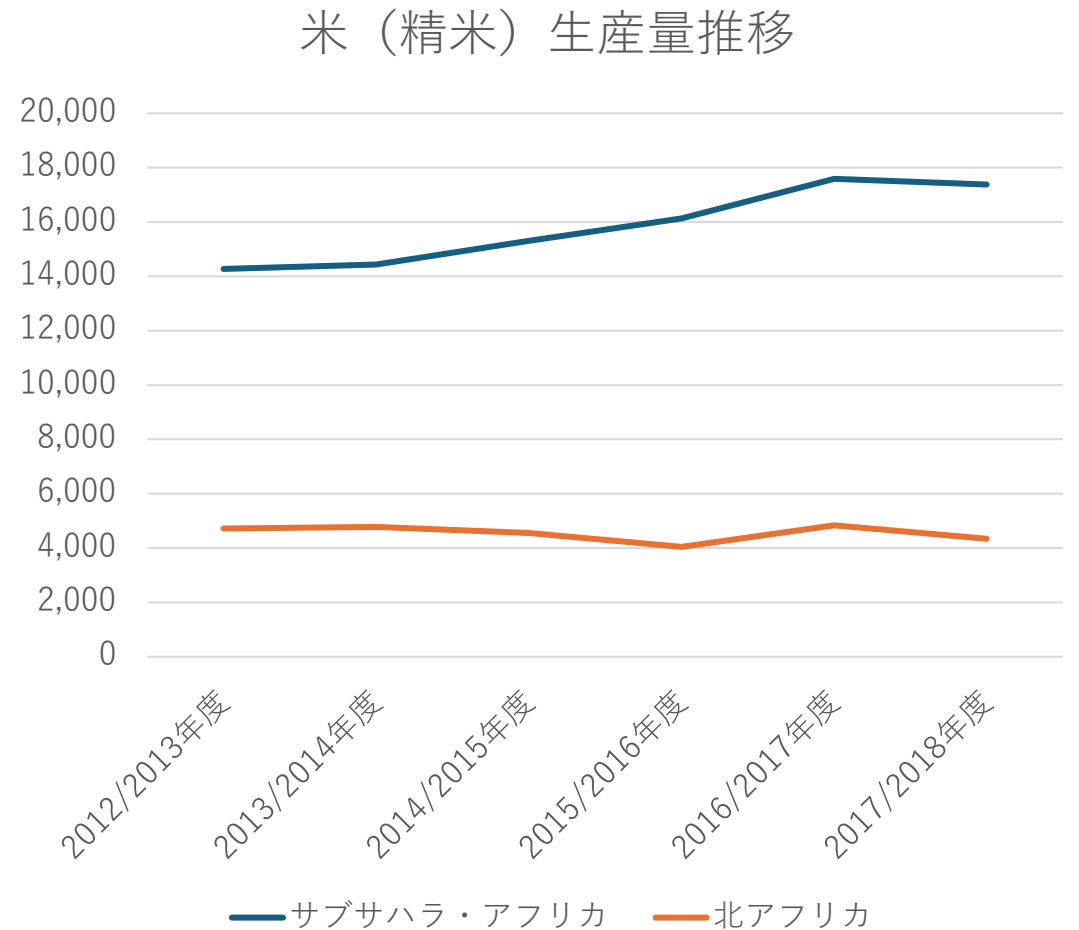
ナイジェリアの国産米 消費増加に向けて ～石抜き機を通して～

愛知学院大学 古田ゼミ

アフリカの米の生産・消費

・2000年代以降、アフリカでは人口増加、経済成長、都市化の影響で食料需要が増大・変化している。アフリカの主食用作物（イモ類や穀物）の中でも、特にコメの消費量は、その他の主食用作物の消費量よりも急速に増加している。

・米消費量の増加に伴い生産量も増えている。



ナイジェリアの米の生産量・消費量

- ・米の消費量 700~800万トン

ナイジェリアはアフリカ最大の米消費国であり、米は主要な主食の一つになっている。人口の増加と都市化に伴い、米の需要はさらに増加している。特に都市部では、簡単に調理できる食品として米の需要が高まっている。

- ・米の生産量 450~500万トン

政府の政策や技術支援のおかげで国内生産量は伸びているがそれでも需要を満たすには不十分

- ・米の輸入量 200~300万トン

政府は輸入制限を強化、公式な輸入量は減少している。一方で隣国ベナンからの密輸米も多く、実際の流通量は公式統計よりも多いと考えられている。

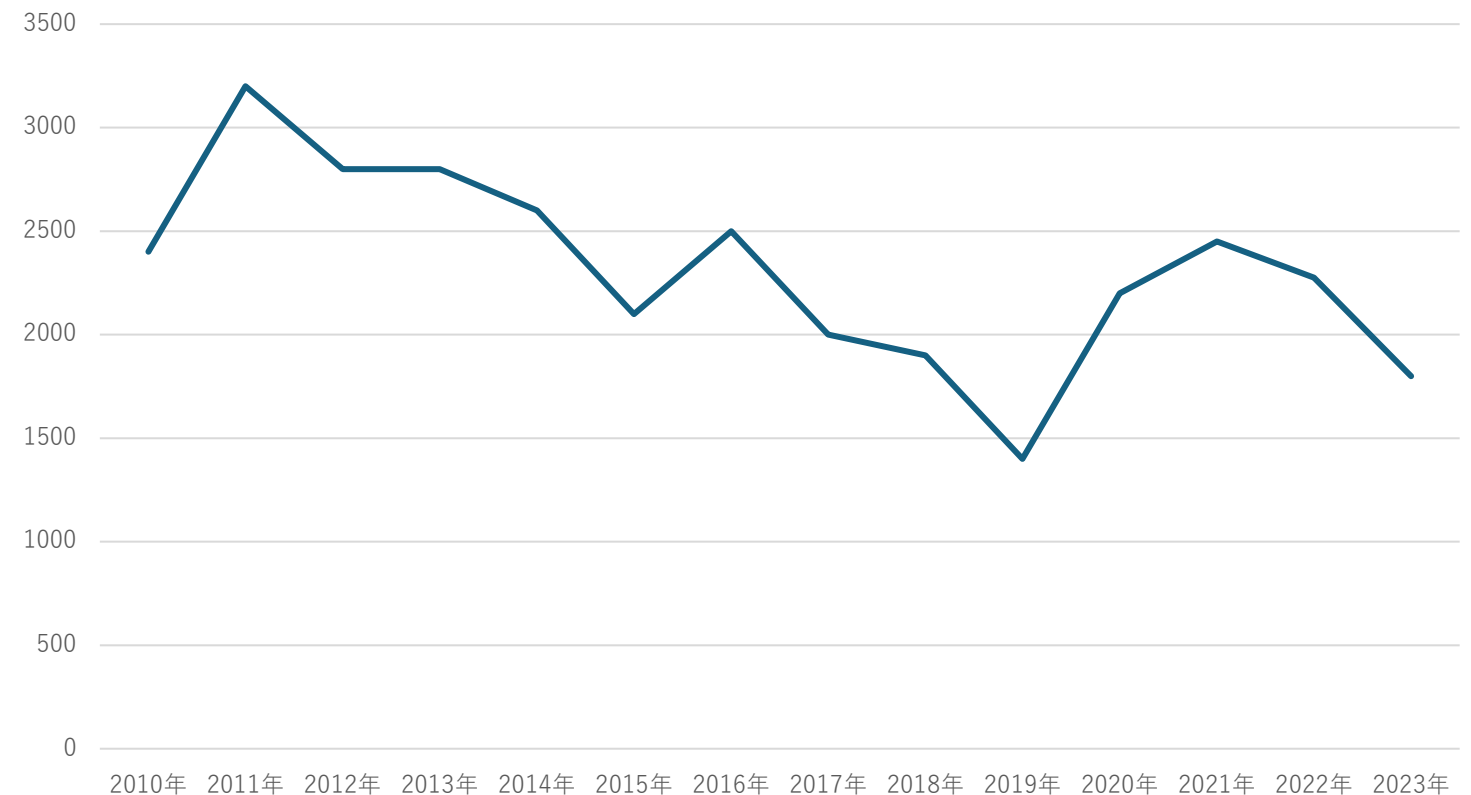
ナイジェリアのコメの輸入量

・2010年から輸入量が増えた

・2019年は大きく減少した
→密輸を防ぐため

・2022年からは減少している

単位：1000トン
輸入量



出典:[世界のコメ統計](#)

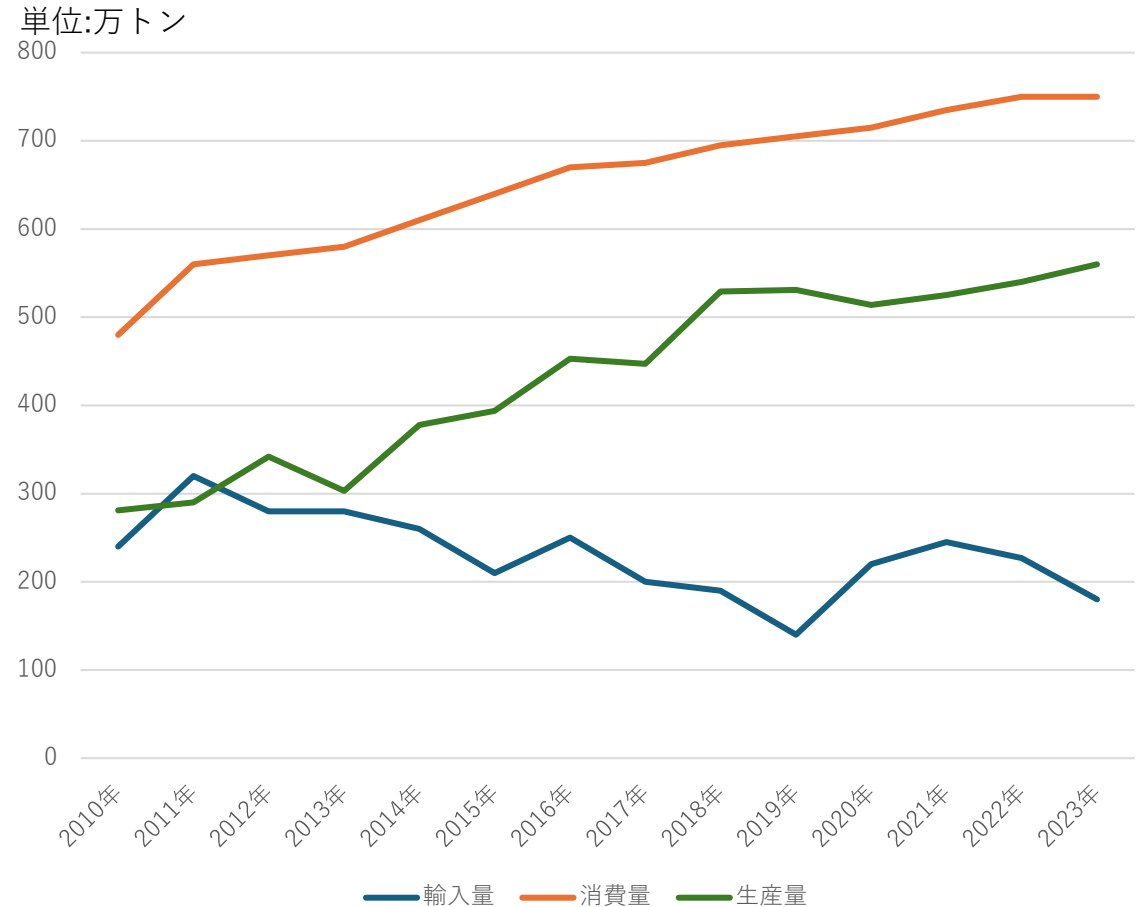
ナイジェリアのコメの需要層

- ・一般家庭
多く消費されている
- ・都市部の中間層
都市部では所得の高い中間層が多く、質の高いコメの需要が増加している
- ・所得の高い世帯は質の高い輸入米を好んでいる
- ・所得の低い世帯は安価な国産米を多く消費している
- ・国産米よりも輸入米のほうが好まれている

ナイジェリアのコメの輸入量

・ナイジェリアのコメの輸入は国内の消費需要が供給を大きく上回っているため、依存度が高い状況

・年間のコメの消費量は約700~800万トンであるが、国内生産量は約600万トンでとどまっているため、生産が需要に追いついていない



出典:[世界のコメ統計](#)

コメの輸入の現状

- ・ナイジェリアはインドからのコメの輸入に大きく依存しており、2021年にはインドがナイジェリアのコメ輸入総額で最も大きな割合を占めていた
しかし、インドがコメの輸出を禁止したことにより、ナイジェリアを含む多くの輸入国に影響が出た
- ・ナイジェリアはタイ、パキスタン、ブラジルなど、インド以外の国から輸入を増やす必要があったが、代替供給源を見つけても価格の高止まりが続いていた
- ・ナイジェリアはもともと、政府が地元のコメ生産を促進するために輸入政策を採用してきたが、国内生産量は需要と一致しておらず、輸入米に頼っている

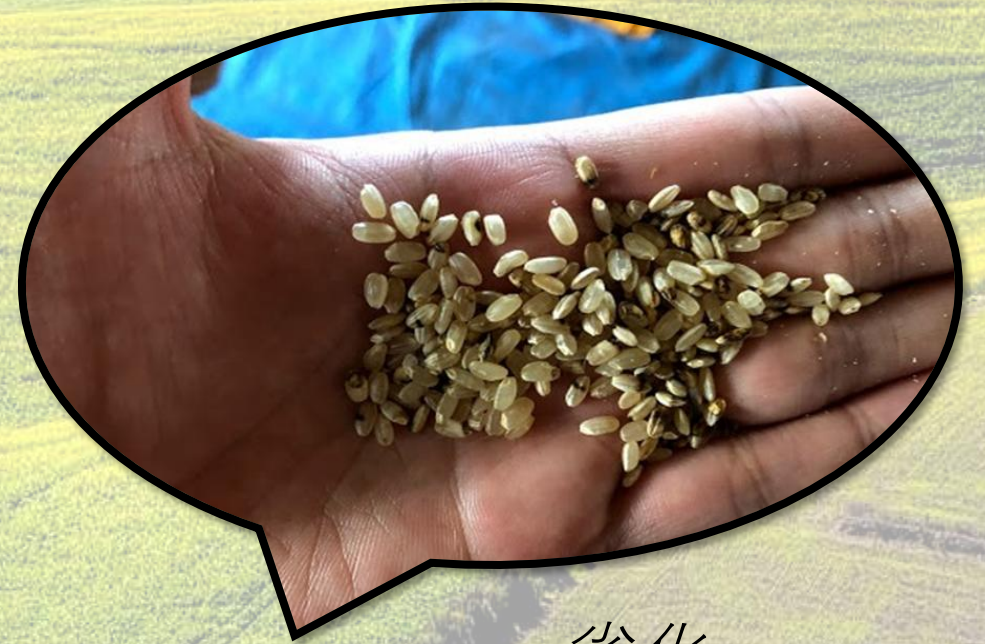
国産米の品質問題

- ・ ナイジェリアの米の最終製品に石が混入することや米が砕けてしまう。
- ・ 精米技術が未熟で、外見や味で輸入米に劣ってしまう。
- ・ 湿気や害虫による劣化が発生しやすい。



石有り

<国産米>



劣化

パーボイルド米

・ナイジェリアでは品質向上の一環としてパーボイルド米の生産が推奨されている。この手法は米の栄養評価を保ちつつ品質を改善する効果がある。

・パーボイルド加工とは「①浸漬②蒸煮③乾燥」の3つの作業を経て製造される方法

①粳を水で十分洗い全体が浸かるまで水を入れ加熱。65-70°Cになったら加熱をやめ8hくらい浸漬させる。

②伝統鍋で7-9分蒸す。ふたと中底を使い蒸気を逃さず穀粒を均等に蒸し、米の色が薄く等しい色合いが出すことが出来る。

出典：
<https://openjicareport.jica.go.jp/pdf/12263018.pdf>



③コンクリート床に広げ天日乾燥する。

天日乾燥では、石の混入を防ぐために強度の高いビニールシートを使用しているが、最終製品に石が混入してしまう場合がある。

パーボイル加工により、米粒が硬化し、米が割れにくくなったり、外見や味、湿気や害虫による品質問題は解決できるが、石が混入するという課題は解決できていない。そのため、石抜き機の導入が必要とされている。

石抜き機の導入

- ・ナイジェリアでは、石抜き機のコストが高いため、小規模農家や加工業者が導入できていない状況が続いており、米に石が混入するという品質問題を改善できない状況が続いている。
- ・国際機関や政府の支援がなければ普及が難しい。



出典：

<https://openjicareport.jica.go.jp/pdf/12263018.pdf>

ナイジェリア政府の支援

○課題

- 機材コストの高さ
小規模なコメ加工業者にとっては高額なため
- 技術面
石抜き機の使用には専門的な知識や技術が必要
→技術的な支援が不足している地域では運用効率が下がる
- 資金援助
毎年、資金が配分されているが十分ではないため、持続的な運営が難しい

・ JICAプロジェクトの目的

JICAがナイジェリアで行った米品質向上プロジェクトは、国内米の品質を高めることで、国内の米生産の競争力を強化し、輸入依存度を下げることを目指した。

・ JICAプロジェクトの成果

1.国産米の価格の変化

JICAのプロジェクトにより石抜き機を導入した結果、ナイジェリアの米の品質が向上し、国内産米の評価が高まった結果、国内市場での価格にも影響が見られた。特に、石の除去や精米技術の改善が進んだことで、国内米は輸入米と競争できるレベルの品質に近づいた。このプロジェクトの成果により、以前は低価格で取引されていた国内産米が、品質向上に伴って価格も上昇している。

ナイジェリア市場での米の価格は、プロジェクト以前に比べて大幅に上昇しており、2023年には国内産米の50kg袋が約28,000ナイラから42,000ナイラに上昇した（約37%の増加）。

約2600円→3900円

2024年には国内産のパーボイルド米の価格が105,000ナイラ（9750円）にまで達し、輸入米よりも高い水準に達している。

2. 輸入米の消費量の変化

・品質向上により国内米の需要が増え、輸入米の消費量は減少傾向にある。輸入依存度が低下し、ナイジェリア産の米が市場シェアを拡大している。政府の取り組みとJICAの支援により、ナイジェリアは米の輸入量を削減し、年間約9%の輸入削減効果が見られている。2015年以前、ナイジェリアは年間約200万トン輸入していた。2020年には、輸入量が100万トン以下に減少した。

課題

- ・ JICAのプロジェクトを通してコメの品質が上がり、国内生産米の評価を高めることに成功したが、石抜き機などの導入には未だ外国からの支援が必要である。
- ・ 石抜き機などの設備はコストが高く、十分な資金を確保できていない。
- ・ 外国からの支援をうけずに自国で資金をまかなえるようになるには？

参考文献

- ・ ナイジェリア国 コメ収穫後処理技術・マーケティング能力強化 プロジェクト 中間レビュー調査報告
([12175873.pdf](#))